



比内公民館だより

2025 No.97

ひな い 10月

発行/大館市立比内公民館 大館市比内町扇田字庚申岱8 Tel 43-7141 fax 55-3652



比内あおぞら学園の館外研修は、仙北市のあきた芸術村を訪問し、「This is Akita!」の祭ステージを鑑賞しました。

ステージは、秋田県の祭を網羅した形で紹介し、ストーリー仕立てにしたもの。観客も時折太鼓を打ち鳴らしたり、提灯を振って参加する形で、みんなお祭りに参加したような気分を味わえました。短時間ながら、お祭り大国秋田を体験し、改めて私たちの体と精神に流れる「秋田の血」（アイデンティティ）を再確認できた気がします。

行き帰りのバスの車窓からは、数日前の水害の痕跡がたくさんあり、はからずも災害視察のようでした。



太鼓をたたくなど、体験型の観劇



バス移動中の様子



トワイライトコンサート 9月18日(木) 扇田小学校

扇田小学校で開催された恒例のトワイライトコンサートに、あおぞらメンバー有志 14 名が参加し、子供たちとハーモニーを響かせました。心配された天気も夕方には絶好のトワイライト模様に！テーマ曲「祈り」では低音パートを担当し、ハーモニーを響かせアンコールをいただきました。今年の合唱曲「キセキ」は、我々の年代には難しい曲でしたが、練習を重ねた結果、まさに奇跡の出来栄でした。



西館地区運動会

8月31日(日)西館小体育



西館地区の市民運動会は、8月31日(日)西館小学校の体育館を会場に開催されました。会場をグラウンドから屋内に変えたのは今年が初めてで、主催する西館まちづくり協議会では、種目の中身も屋内向けに工夫を凝らし、できるだけ参加者が楽しめる内容に変更しました。また、綱引きなどの団体戦は順位を決めて表彰し、個人種目の着順によるポイントを無くし、総合順位を廃止。これにより、チームの得点を気にすることなく、皆さん気軽に参加してくれました。

新しい種目では、直前に内容を説明し、半信半疑でスタートするような場面もありましたが、プログラムが進むにしたがって、みんなの笑顔が増えました。本格的な運動会を望む声もあったのですが、みんなの笑顔を見ると杞憂であったように思います。

選手集めから準備、運営と後片付けなど、主催者側の課題が多い運動会ですが、これらの解消、省力化にもなったのではないのでしょうか？お手伝いいただいた皆さんにとっても笑顔の運動会でした。



あおぞら学園 スマホってなに？

9月18日(木)

デジタル推進委員 佐藤文枝さん

多発する詐欺メールなどの危険はあるものの、災害時には頼りになるのがスマートフォン。最新の天気予報やニュースもリアルタイムで手に入れることができます。しかし、最低限のルールやマナーは必須。まずは画面のロックをかけて、万が一紛失した時のリスクを回避。電源のオンオフ、マナーモードも場面により自分で対応。電話をする、切る。写真・動画を撮る、送る。それから、LINEなどアプリの活用。だんだん頭が痛くなって……。困ったときに相談できる警察や消費者センターも紹介いただきました。

編集後記

やっと季節が秋の兆しを見せてくれるようになりました。連日の熱帯夜に比べると天国のようですが、油断して窓を開けたまま眠ると、夜中に寒さで震えることもありますね。

稲刈りも進み、収穫の秋も本格的になってきそうですが、果物は高温続きの影響を受けてはいないでしょうか？先日掘った我が家のサツマイモは、やたらと大きく育ち、割って見ると中に空洞がありました。本当は熟成期間が必要ですが、ここから腐敗しないか心配です。それにしてもウラナリのスイカやメロンもまだあり、これから栗やブドウなどもおいしい季節を迎えると、体重を心配することに……。冬眠前のクマに仲間と思われぬように用心しなくては！ (若)